

平成29年度カレンダー

1部 600円

仕様：A4版28ページ（見開きA3版）

申込先 加藤事務局長

メール：bunta@ps.ksky.ne.jp

FAX：0276-52-1276



携帯：090-4705-3579



天野理事長

メール：evergreen2000@nifty.com

FAX：048-298-2082

携帯：090-7835-3455



「SMF CALENDAR 2017」 注文票

氏名		所属		必要部数		部		円
電話				メール				
	1. 11/9 理事会にて 2. 11/27 県体コバトクライミングカップ・ロープ（加須）にて 3. 12/7 埼玉支部講演会「北岳周辺での登山 山小屋事情と変遷（浦和コミュニティーセンター）にて 4. 12/10-11 冬山レスキュー講習会（県活）にて 5. 12/10-11 ボルダリングジャパンカップ予選会（深谷）にて 6. 12/24-25 全国高等学校選抜クライミング選手権大会（加須）にて 7. 郵送（実費を頂きます） 送付先 〒 住所							

埼玉県山岳連盟 カレンダー 2017 採用作品一覧



表紙 笠原数造 (彩・岳協会)

「見果てぬ夢／AIGUILLE DU MID I 南壁のクライマー」

ゲル・アラツ氷河 2016.7.28

27歳のときに悪天候で登れなかった南壁を、この夏ヴァレ・ブランシュ氷河から再び見上げた。明るい茶褐色の花崗岩の壁は青空をバックに燦然と輝いていた。ガストン・レヴィュファールをパートナーに説明しながらS字状のクラックを心で攀る自分がいた。



1月 天野賢一 (遠峰山岳会)

「老木」

甲斐駒ヶ岳 2013.12.31

正月合宿で鯉岳を越えて甲斐駒を目指した。中川乗越を過ぎ、頂上まで続く長い登りの途中1本の老木が立っていた。厳しい風雪に耐え、枝は曲がり幹は捻じれ、樹皮はめくれ上がっていた。それでも毅然と甲斐駒を見つめている姿に生命の強さを感じた。



2月 逸見照三 (恵流峰会)

「初冬」

秩父ミュージアムパーク 2014.1.11

清流「あらかわ」の河岸段丘最上段秩父ミュージアムパークの展望台。どっしりとした武甲山と秩父盆地が眺められるお勧めポイントの一つです。春は新緑、夏の稲妻を遠くに武甲山。そして、秋から冬にかけては、秩父盆地の大雲海のパノラマ。ペールに包まれた神秘的な盆地、荒れ狂った大波のような雲海と川霧の湧き上がる様子、これまた幻想的な風景です。この写真のように、もう少し寒さが増すと白銀の世界となります。



3月 塩原節夫 (UDAC)

「早春の浅間山」

黒斑山近く 2015.3.26

まだ雪の残る黒斑山へ登った。登山を始めた頃、雑誌の写真で見た縦筋に雪の残る浅間山を見たさに、天候にも恵まれ、車坂峠から汗が噴き出す雪の登山道を登り始めると目の前に憧れの浅間山が広がった。時々ボツと上がる噴煙をアクセントに活火山を表現してみた。

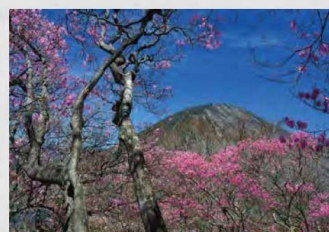


4月 秋庭 栄 (あゆむ山の会)

「佐武流遠景」

白砂山下部 2013.5.4

白砂山から佐武流山へ向かう雪原で、ラストを行く私は遙か山頂までの雪稜を見て立ち止まった。いくつものピーク、ブッシュ、雪庇が待ち構えているのか。「さぶりゅう山」という無骨な言葉の響きと凛とした仲間の後姿とが重なった瞬間、シャッターを切った。

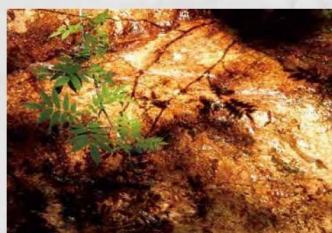


5月 高橋己代司 (蓮田山岳会)

「春のうた声」

日光茶の木平 2016.5.8

オオシラビソの大木が林立し、うっそうとしていた場所が強い風雨にやられたのか、木々が倒され、そこはいつのまにか陽だまりになっていました。茶の木平への最後の岩場にあったアカヤシオはシラビソの大木等が無くなくなった為、十分な陽射しを浴びて、色濃くのびのびと、美しく咲いていました。その先には奥日光の山々が連なり、雄大な景色です。ハイカーの姿をほとんど見かけず静かな展望スポットです。



6月 中田裕之 (深谷山岳会)

「清流に反映すナナカマド」

群馬県品村 2016.6.18

群馬県品村の丸沼温泉から四郎岳と燕巣山に登った帰り道。2つの山のコルから四郎沢という樹林内の沢沿いを下る。なんの変哲もない沢なのだが、50メートルほどの長さを赤茶けた岩盤のナメ滝が流れていて、午後の陽射しがまばゆい光を水面に映している。



7月 富士田始 (TEAM やまあるき)

「東北随一の独立峰「鳥海山」

御田ヶ原分岐付近 2015.8.4

鳥海山 (標高 2,236 メートル) は山形県と秋田県の県境にあり、出羽富士とも呼ばれています。日本海に面しているため気象の変化が激しく、自然が厳しいだけ高山植物も多く女性登山者にも人気です。象潟口 (幹立) から入山いたしましたが、鳥海山固有種のチョウカイフスマ、チョウカイアザミが綺麗に咲いていました。



8月 設楽和男 (深谷山岳会)

「憩い」

志賀高原東館山 2015.8.8

涼を求めて志賀高原に入った。朝は高原の冷気に包まれていたが裏岩菅山・岩菅山・寺子屋山と縦走して、東館山に着いた時には暑さでかなりばてていた。その時、長い旅をしてきたであろうアサギマダラとの出会いは縦走の疲れを忘れさせました。



9月 井上一義 (UDAC)

「秋漂う平ヶ岳」

平ヶ岳山頂付近 2012.9.27

山仲間の山口新二氏が日本三百名山完登となる荒沢岳へ同行登山した翌日に、自分の百名山完登で以前にも登った平ヶ岳を再び訪れた際に山頂部の高原湿原の燃ゆる秋に感動しながら眼前に聳える燧ヶ岳やその先の日光連山を遠望した。



10月 下村美和子 (大宮700'インクア)

「鳥・海・山」

鳥海山 2015.9.21

秋の気配を感じるシルバーウィーク、会の仲間たちと東北へ足を延ばしてきました。空は快晴。日本海を後ろに背負って遙か先の頂を目指し。敢えて真正面から逆光で撮影した奇跡の1ショット。"雄大な鳥海山の懷に抱かれ。。" そんな一日でした。



11月 岸田昌巳 (UDAC)

「川霧晴れ紅葉冴える」

南天山沢コース付近 2014.11.03

一昨年、中津川峡谷「南天山」へ仲間3人で「晩秋の静かな山」を味わう想いで早朝の秩父路を走らせた。鎌倉沢橋より静かな沢を登り始めると、川霧が立ち込め陽光が差すコントラストな紅葉が冴え、カメラを構え数枚捕らえた写真は神秘的だった。気分良く山頂に登り360度の展望も味わい満足気な日帰り山行でした。

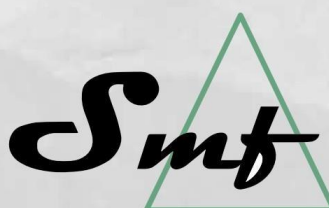


12月 渡邊 訓 (高体連)

「南アルプスの山々」

千丈岳 2015.11.3

南アルプス北部の一つの展望台である仙丈岳。冬の足音が聞こえ始めたある日、北沢峠から新雪を踏んで登った。稜線に出ると流れていたガスも取れ青空の下頂に立つと、小仙丈の彼方に甲斐駒から高嶺を経て鳳凰三山、そして日本の高峰の1・2・3を一望することができた。



2017 埼玉県山岳連盟

カレンダー製作委員会